

## 日本特別活動学会第33回大会 自由研究発表

エジプトにおけるTokkatsuの導入がもたらした子ども・教師・学校の変化  
—教師・Tokkatsu Officer・保護者の参加によるMSC研修での調査から—



平田幸男（至学館大学）  
山田真紀（椛山女学園大学）  
添田晴雄（大阪公立大学）  
天野幸輔（名古屋学院大学）  
京免徹雄（筑波大学）

※本調査は、令和5年度文部科学省「日本型教育の海外展開(EDU-Portニッポン)」調査研究「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」の助成を受けている。

## 2. Tokkatsu導入の経緯

エジプト革命による社会の混乱

慢性的な  
失業率の高さ

都市と地方の  
深刻な格差

平和な国づくりを模索



## 2. Tokkatsu導入の経緯

# 規律や協調性などの人格形成を重視

2015年1月  
安倍元首相エジプト訪問  
エルシーシ大統領との会談の際に、  
大統領より日本式教育への関心が  
示された。



## 2. Tokkatsu導入の経緯

2017年

カイロおよび近郊の12の公立小学校・中学校をパイロット校（現在の名称はパイオニア校）として日本式教育の導入が始まり、**学級会・日直・職員会議・教員相互の授業参観**などの実践が始まる。

2018年

「EDU2.0（新学習指導要領）」でTokkatsuが新設。  
週に45分間配当。

「**学級会**」「**学級指導**」「**日直**」が含まれ、  
「ミニTokkatsu」という愛称で、  
エジプトにある公立小学校約 18000校全てで実施

## 2. Tokkatsu導入の経緯

2018年9月

**エジプト日本学校**（Egyptian Japanese School：EJS）35校が開校

実技科目用の実習室や職員室を備えた校舎で、本格的に「Tokkatsuプラス」の実践が開始。

日本のいわゆる特別活動に、幼児教育での自発的な遊びの尊重・清掃・健康診断・給食・体力測定・職員会議・クラス担任制・地域や保護者との協働を加えた**日本式教育**を総称する名称。

### 3. 本調査の概要

#### ○目的

エジプトにおけるTokkatsu（日本式教育）導入がもたらした子ども・教師・学校の変化を把握する。

#### ○実施日時・場所

2023年12月25日（月） 10時～11時30分  
EJSニューカイロ校



○参加者 EJS教師10名、保護者5名、TokkatsuOfficer 5名、計20名

#### ○調査方法

1. 参加者がMSCを用いた研修を通して、Tokkatsu（日本式教育）導入による子ども・教師・学校の変化を協議する。
2. 協議内容を基にそれぞれの変化を質的に分析し、内実を把握する。

### 3. 本調査の概要

MSCとはMost Significant Change（「最も重大な変化」）の略。1990年代にDr. Rick Davies（英）によって考案された、参加型・質的評価手法の1つ。

導入したプロジェクトの効果を測るために、欧米のNGOが用いている。

#### 参考文献

The 'Most Significant Change' (MSC) Technique: A Guide to Its Use By Rick Davies and Jess Dart

2005年 モスト・シグニフィカント・チェンジ（MSC）手法 実施の手引き（日本語版）

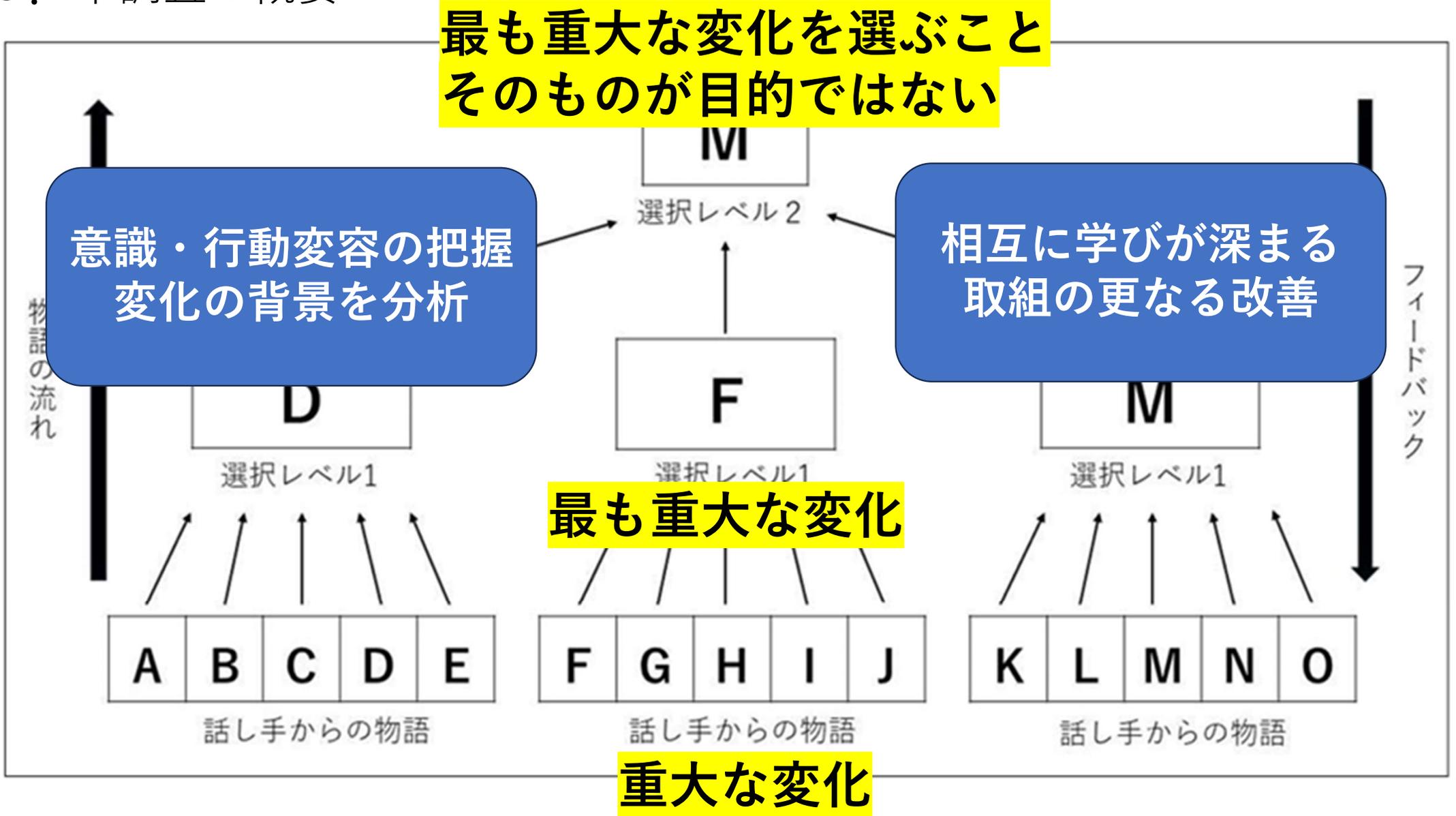
リック・デイビース、ジェス・ダート著 田中博監訳MSC 翻訳チーム翻訳 2013年10月

#### 参照サイト

一般社団法人 参加型評価センター



### 3. 本調査の概要



### 3. 本調査の概要

#### 本調査におけるMSC研修の流れ

- ①「子ども」「教師」「学校」のそれぞれについて、どのような変化がもたらされたのか、その変化はなぜもたらされたのかについて個人でワークシートへ記入する。(25分)



### 3. 本調査の概要

ワークシート

	どのような変化がもたらされたのか	その変化はなぜもたらされたのか
子ども		
教師		
学校		

### 3. 本調査の概要

لماذا طرأت عليهم هذه التغييرات؟	ما هي التغييرات التي طرأت عليهم؟	استمارة ورشة العمل
<p>- وذلك بسبب إنباعهم لدرجة التوافق معه أول اليوم الدراسي المرئية اليوم .</p> <p>- زيادة ثقة الطالب بنفسه وذلك لقيامه بنشاط الريادة اليومية وزيارته مجلس الفصل</p> <p>- زيارة تعارفه الطلاب مع بعضهم البعض نتيجة المناقشات التوجيهية التي تقلد سلوك التلميذ</p> <p>- زيادة تحصيل العلم من خلال تنوع استراتيجيات التعلم المحفز المشترك حول الطالب</p>	<p>- أصبح التلاميذ أكثر مراعاة للوقت والنظام</p> <p>- زيادة الطالب من الاعتماد على نفسه وزيادة ثقته بنفسه</p> <p>- زيادة الطالب من قدرته على الريادة</p> <p>- زيادة تعاونه الطالب مع زملائه</p> <p>- زيادة التحصيل العلمي للطالب</p> <p>- اكتساب التلاميذ عادات صحية وإيجابية</p>	<p>التلميذ</p>
<p>- من خلال حضور الحصص البصيرة ومشاركة الجميع باستراتيجيات جديدة للتعلم</p> <p>- من خلال المناقشة مع الطلاب من المناقشات التوجيهية</p> <p>- حل المشكلات من خلال تطبيق المناقشات ومجلس الفصل حيث نهجته التفهيم</p> <p>- أصبح المعلم أكثر تعاضداً من خلال الأنشطة والمراسم التي تساعد على التكيف مع بعضهم البعض مع التلاميذ</p>	<p>- اكتساب مهارات جديدة للتعلم</p> <p>- اكتساب مهارات الحوار والبناءة</p> <p>- اكتساب مهارات حل المشكلات</p> <p>- تقبل الفروقات الفردية للطلاب</p> <p>- التقاوم</p>	<p>المعلم</p>
<p>- من خلال التعاضد مع أولياد الأمور من المشاركة في الساحات التطوعية</p> <p>- أصبح أكثر المدرسية داخلاً في المجتمع الخارجي من خلال زيارته إقبال أولياد الأمور على الالتحاق بالمدرسة</p>	<p>- أصبح لها أثر واضح في المجتمع الخارجي</p> <p>- أصبح هناك تعلق كبير على بعض الإلتحاق بالمدرسة</p> <p>- من قبل العديد من أولياد الأمور</p>	<p>الخدمة</p>

### 3. 本調査の概要

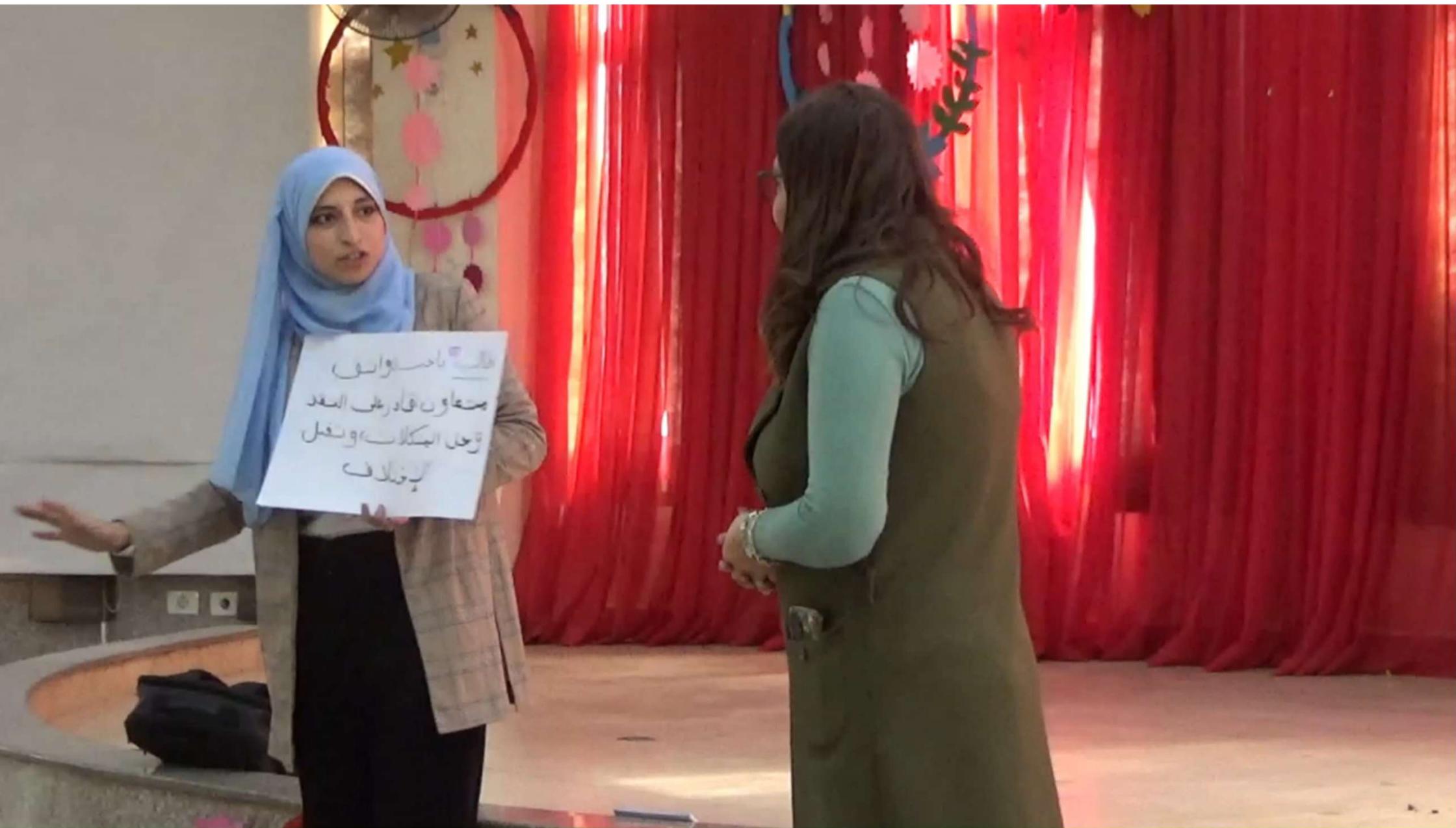
②ワークシートに記載した内容をもとに、各グループで「子ども」「教師」「学校」それぞれにもたらされた最も重要だと思う変化について、その理由も含めて話し合い、まとめる。発表の準備をする。(30分)



### 3. 本調査の概要

③各グループで話し合った結果を全体へ発表する。(20分)





### 3. 本調査の概要



④発表を受けて、日本側の代表からの講評を行う。（10分）

⑤この研修を通して学んだこと（理解が深まったこと）について個人で記入する。（5分）

### 3. 本調査の概要

MSCでは研究者や専門家が「二次分析」（得られたデータ全てを用いての総括評価）を行い、その把握した結果をもって分析対象者にフィードバックを行う。

しかし、その方法は特定されていない。

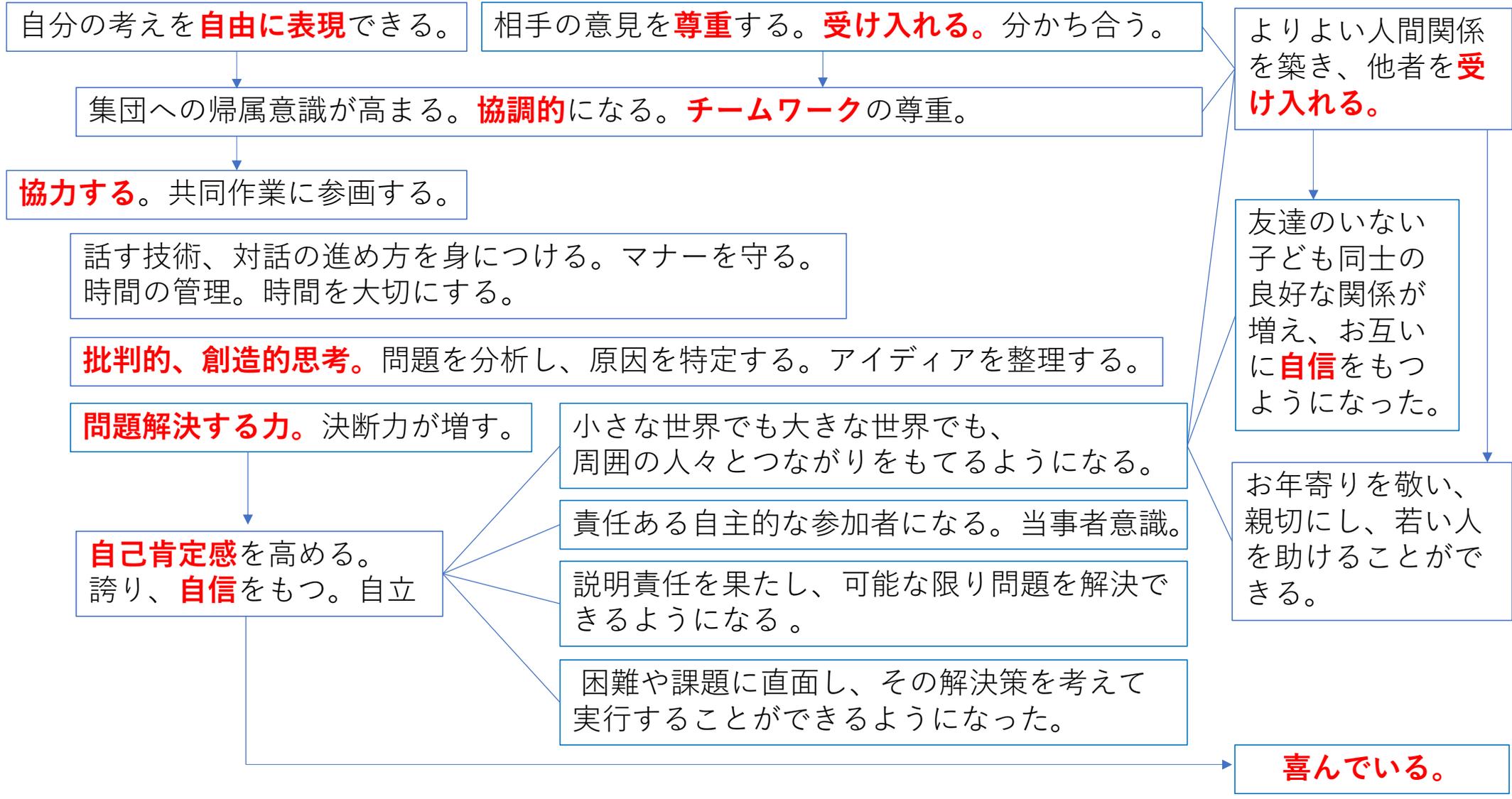
本調査ではKJ法を採用

- ① 変化に関する全コメントについて、以下2点を参考に分類・整理し、関連を分析する。（空間配置、図解化）。
  - ・ 個人ワークシートにある「なぜその変化がもたらされたのか」の記述
  - ・ 「最も重大な変化」に挙げられた内容
- ② ①の結果をもとに、文章化する。

## 4. 本調査の結果

エジプトにおける  
Tokkatsuの導入がもたらした  
子ども・教師・学校の変化

子どもの変化① 学級会、委員会活動、学校全体における生徒の活動を支援する生徒会の活動



## 子どもの変化②

日直・朝の会・帰りの会・委員会

朝礼や一日を通してのリーダーシップによる平等意識。

ローテーションにすることで、社会的正義を感じる。社会的正義は快適さと不公平感の欠如につながる。  
社会の**重要な一員**であることを理解している。**リーダーシップと責任感**を育んでいる。自分の価値を創造し、感じている。

**自己肯定感**を高める。  
誇り、**自信**をもつ。自立

強い意志と自己管理能力

自主的にミーティングを行い、  
リードできるリーダーになる。

小さな世界でも大きな世界でも、  
周囲の人々とつながりをもてるようになる。

責任ある自主的な参加者になる。当事者意識。

説明責任を果たし、可能な限り問題を解決できるようになる。

困難や課題に直面し、その解決策を考え、  
実行することができるようになった。

新しい課題に直面したとき、**リーダーシップ**、イニシアチブ、**創造性の精神**をもち、  
リーダーとして卓越性と他者の利益を追求するようになった。

リーダーやフォロワーの役割を担いながら、課題を達成する。

学校コミュニティの**効果的な一員**

友達のいない子ども同士の良好な関係が増え、お互いに**自信**をもつようになった。

お年寄りを敬い、親切にし、  
若い人を助けることができる。

利他主義

**喜んでいる。**

## 子どもの変化

### ③毎日の課題と毎週の課題の設定

目標を実行・達成しようとする

その日の目標に優先順位をつける。

### ④ガイド付き学習

自分の学習に責任をもつ

自分で学習する。

スキルが教科の学習や最適化に反映された。

### ⑤掃除

清潔の価値を信じるようになる。

個人の衛生と身の回りの清潔さを大切にする。

自分の環境を清潔に保つことに自己責任をもつようになる。

整理整頓ができ、計画的で健康的なライフスタイルを送ることができる。

### ⑥ボランティア活動 地域活動

学校内外への積極的な参加

その土地に愛着を持ち、その土地を守る。

# 教師の変化

①新しい学習スキルを身につけた。

## 子ども中心

子どもの全人的な発達

暗記中心→討論、対話

子どもが自分で学習する。情報にアクセスする。

**生徒の能力をより信じる**ようになり、生徒と教師との信頼関係が深まる。

子どもとのコミュニケーションや対話・ディスカッションを行う。距離を縮める。

子どもの間違いを非難せず受け入れる。

議論と対話のスキル。耳を傾ける。

**子どもたちの特性や希望に注意を払い、個性や個人差に応じた活動を行う。**

**子どもの個性を分析して個人差を把握し、それに応じて戦略や活動を計画する。特別な能力を持つ子どもに対応できるようになった。**

④

**パフォーマンスの最適化**

創造性、シチズンシップの  
形成

# 教師の変化

②問題や課題に向き合い、解決策を考え実行する能力を身につけた。

研究会での共同作業、教師を対象としたワークショップで重要性を確信する。

責任をもつ      スキル向上へ向け、定期的、積極的に参加する。

ディスカッションや授業研究会を私生活でも活用する。

革新的・創造的・型破り      時間と労力をうまく管理する。

**自らを成長させる**

③同僚との協力関係を深めた。

教師が学校内や行事でより積極的に交流する。

他者との関係を築き、受け入れる。      議論と対話のスキル。耳を傾ける。

**お互いの経験や教材を共有する。同僚の専門知識を活用する。分かち合う。**

**様々な方法、技術を用いる。情報伝達をよりクリエイティブに行う。**

自分の能力と指導スキルに見合った適切な行動をとることに熱心。

④  
**パフォーマンスの最適化**  
創造性、シチズンシップの形成

# 学校の変化

①全教師が学校運営に参加する。一丸となって行動している。

提案や話し合いを柔軟に**受け入れ**、緊急の問題にも解決策を見出す。

人間関係が良好。**共同の集団。学校チーム。**

誰かが助けを必要とすれば、すぐに利用できる協力体制。

学校管理職には、現状を踏まえて教育目標を設定し、さまざまな学校計画を立て、それをフォローアップし、評価し、そこから教訓を導き出して、**継続的な改善のプロセス**を続ける能力がある。

自己管理、自己評価、何がうまくいき、何を改善すべきかを見極め、それに取り組むことができる協力的な学校。

教育プログラムと活動を、具体的で明確な目的を持った方法で管理している。

時間管理システムの導入

# 学校の変化

②子どもや保護者にとって**魅力的**な学校となった。

他者を**受け入れる**という方針に従い、**保護者の意見を理解し、支援を得る**ことが可能になった。

保護者との良好な信頼関係

保護者は、協力チーム、ボランティア時間、個人面談、家庭面談などを通して、教育プロセスの**パートナー**となった。

子どもが学校への帰属意識と**愛着**を感じ、家に帰りたがらない。

学校は**第二の家**

学校に対する固定観念は少なくなってきた。

多くの保護者から入学の要望が高い。

## 学校の変化

### ③地域社会とのパートナーシップ、協力関係

教師の自発的なボランティアタイムへの参加

地域社会とかかわり、明確な影響を与えている。

### ④教室**環境の改善**

生徒とスタッフが常に**清潔**にしている。

学校は**清潔で美しく、整理整頓**されている。

学校内に秩序と静けさがある。

エジプトでのTokkatsuの導入がもたらした変化 ※子ども・教師・学校をまとめて

子ども同士、教師と子ども、教師同士、教師（学校）と保護者の間の全てにおいて、以下の点がなされている。

- ・相手の考えを聞き、受け入れ、理解し、分かち合う。
- ・よい人間関係、信頼関係が構築され、学校の一員としての帰属意識をもつ。
- ・当事者として協力し物事を進める。

心理的安全性



子どもが能力や自信をつけて喜び、  
教師は子どもや同僚とともに自らを成長させ、  
学校は保護者をパートナーとしつつチームとして継続的な改善プロセスを  
続けており、子どもや保護者にとって魅力的になっている。

## 5. 本調査の成果

ワークショップを通して学んだこと（理解が深まったこと）



### ○Tokkatsuについて

積極的に学ぶこと、学ぶことを楽しむことに加え、生徒を幸せにすることがTokkatsuの活動の主な目的です。

目標は誰にとっても明確であり、学校、教師、生徒に関する意見はほぼ一致している。それぞれ生徒を中心に動いていることが明らかになった。この協力関係が継続することを願っています。

日本のシステムに柔軟性をもたせ、エジプト人と日本人の性格の違いを考慮し、Tokkatsuを普及する。

Tokkatsuの常時活動や学習活動を応用し、深めることの重要性を学んだ。

## 5. 本調査の残された課題

○本調査結果のエジプトへのフィードバック

○もたらされた変化と非認知能力（14のライフスキル）との関連

